

[小面積向き]

スチップル仕上げ  
施工の手引き

適用品番

ジョリパット材 JQ-650 シリーズ

ジョリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成18年 6月【初版】

平成23年11月【改訂】

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

## <使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg 角缶	約 80~106 m <sup>2</sup> /缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg 角缶</u>	<u>約 75~100 m<sup>2</sup>/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg 角缶</u>	<u>約 80~106 m<sup>2</sup>/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上り塗材	20kg ペール缶	約 11 m <sup>2</sup> /缶

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m<sup>2</sup>/セット)

## <主な施工道具>

- ・リシンガン(口径 4~6mm)※<sup>1</sup>
- ・コンプレッサー(3馬力(2.2 kW)以上：1台使用の場合)※<sup>1</sup>
- ・ステンレスゴテ※<sup>2</sup>
- ・マステックローラー(ジョリパットローラーJR-20：9インチ)

※<sup>1</sup> 下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合

※<sup>2</sup> 下塗りを左官業者がコテ塗りで施工する場合

## <下地調整>

標準下地は、石膏ボード(プラスターボード)又はモルタル金ゴテ押さえ(平滑)とする。下地は、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <スチップル仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JQ(W)-650シーラー	20kg
	清 水	1.5~2kg
塗布量	約1.0kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
使用ガン	リシガン口径φ4~6mm	

※左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で  
0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布  
する。(下ごすり)

JQ(W) - 650 - 41 - 01  
(JQ(W) - 650 ステップル)

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上塗り

配 合	JQ(W)-650シリーズ	20kg
	清 水	2ℓ
塗 布 量	約1.0kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	マスチックローラーJR-20で薄く 均一に塗布する。一度材料を配ったあと ローラーで引きのばすようにする。	

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

- ・ マスチックローラーJR-20を上下・左右に転がし、  
均一に塗材を引き起こす。
- ・ ローラーは引きずらないようにし、力を入れず回転させる。

## <施工のポイント>

- ・ マスチックローラーJR-20をランダムに転がす。  
ローラーは軽く転がし、回転するようにしてパターン付けする。 (図-1)
- ・ 配り塗りは、塗布量が均一になるように行なう。(塗布量が異なると山の立ち方がバラツキ、パターンが汚くなる。)

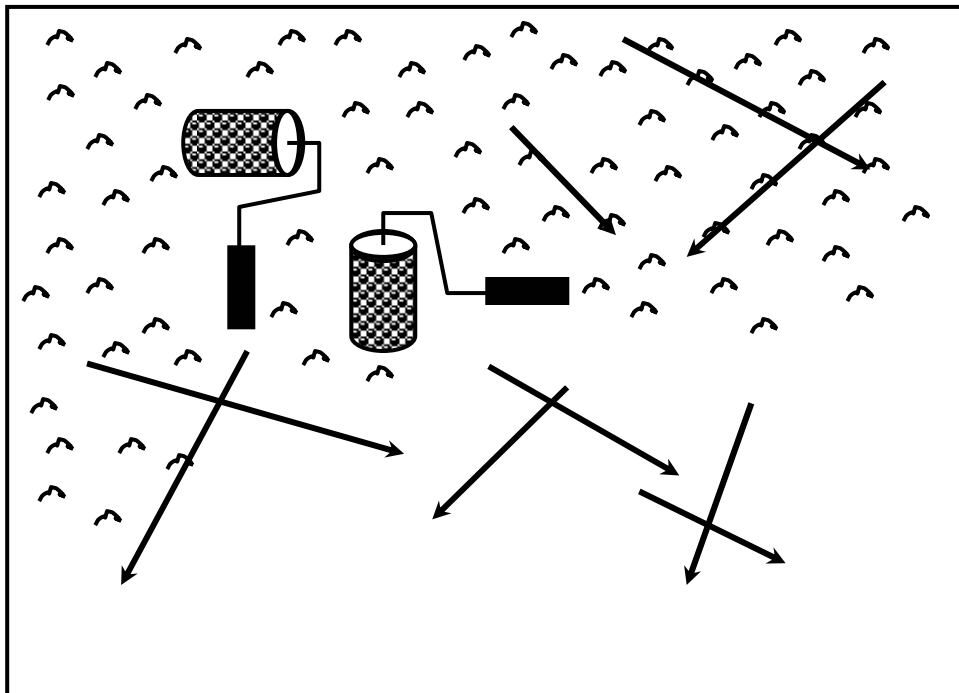
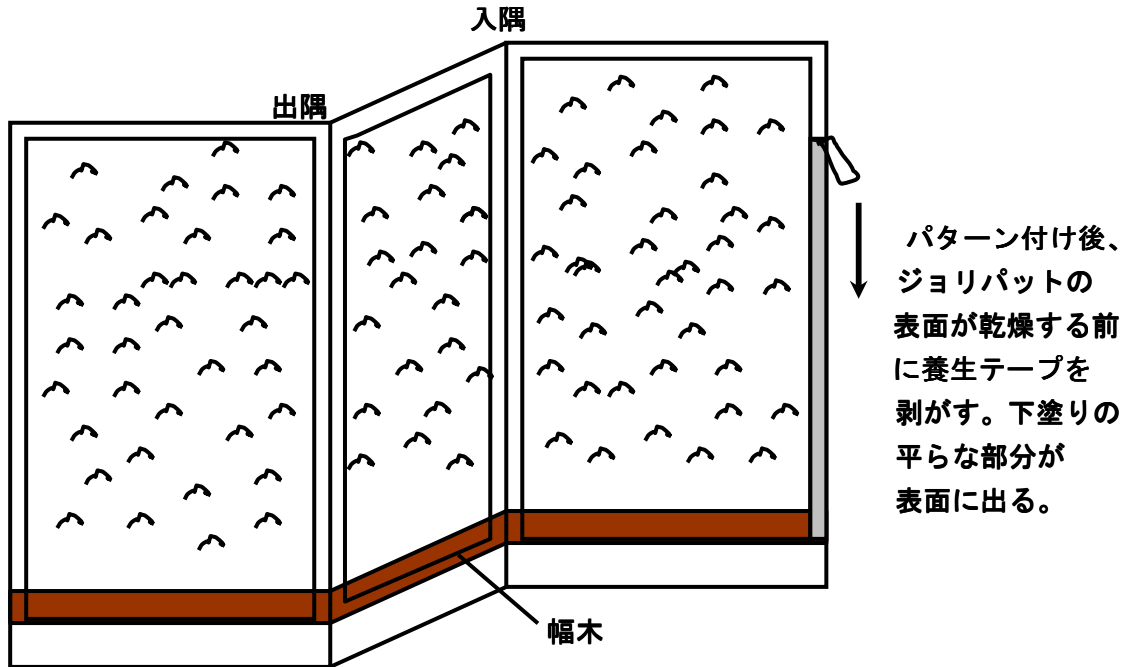


図-1

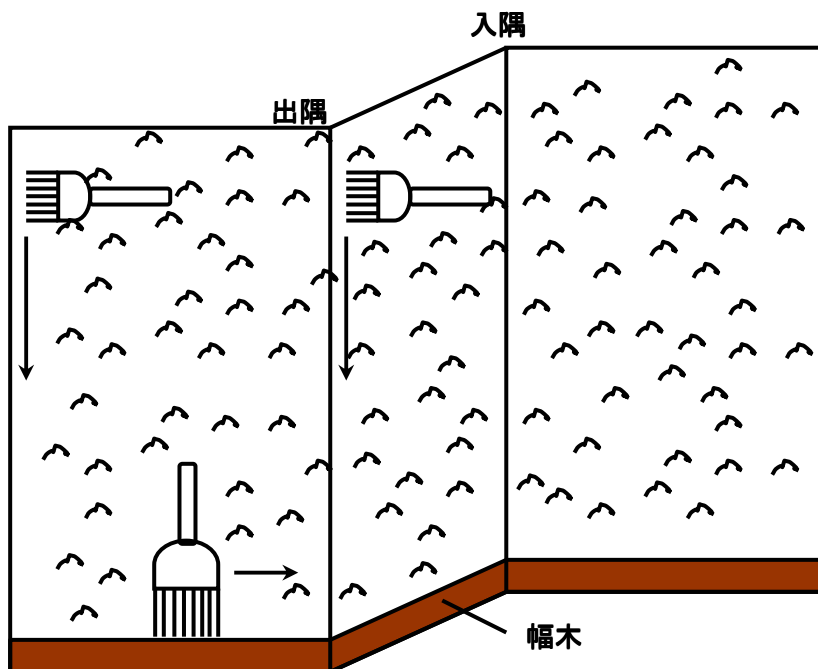
## ○入り隅、出隅の処理方法

・入隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットが乾燥する前に水を浸して水分を切った刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図-4）



化粧目地をとる工法

ジョリパットを下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図-4

## <施工の注意事項>

- ・ 配り塗りはできるだけ均一にしてください。
- ・ 水希釈の割合や塗布量の差により山の立ち方が異なりますので、調整してください。
- ・ マスチックローラーJR-20にジョリパットが多く付着したときは、コテ板などの上でローラーを回転させながらジョリパットを取り除く。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。  
また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパット/ソフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤等で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。  
また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用下さい。
- ・ 器具を洗浄した水を河川、側溝への施流は避けて下さい。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上